# 小樽住ノ江火の見櫓をまもる会　設立記念講演会

◆ と き　令和5年　2月19日（日） 午後2時から午後4時30分頃迄

◆ ところ　生涯学習プラザレピオ　1階　ふれあいホール
住所 小樽市富岡1丁目5番1号　0134－24－3363
https://www.city.otaru.lg.jp/docs/2020111300651/

◆ 入場無料　定員70名

◆ スケジュール

**◇受 付　13:30～**

**◇開会挨拶　14:00～**

**◇来賓挨拶　14:05～**

**◇報告　14:10～15:00**

北海学園大学工学部　建築学科　植松研究室

「全国の火の見櫓の実態調査と小樽住ノ江火の見櫓保存計画策定の支援」
報告者　京田　華々（はなか）さん

「小樽住ノ江 火の見櫓の耐震性の評価」
報告者 新岡　遼音（りょうと） さん

**◇記念講演　15:10～16:10**

講演　「火の見櫓は何を語るか ～小樽を見つめる安全遺産～」
講師　火の見櫓からまちづくりを考える会 代表 塩見 寛（かん）氏

**◇パンフレット配布とアンケートのお願い**

**◇閉会**

◆問い合わせ先

早川陽子設計室　TEL＆FAX 0134-34-3311
携帯 090-2050-2682

◇ ロゴマーク、イラストは北海学園大学工学部建築学科植松研究室の協力によるものです

## 講師プロフィール

**塩見　寛(かん)**　　火の見櫓からまちづくりを考える会　代表



1952 年　京都府綾部市生まれ。
九州芸術工科大学環境設計学科卒業、
筑波大学大学院環境科学研究科修了後、
1979 年～2010 年静岡県庁。
現在、Kei_まちづくりネットワーク代表。
2000 年から火の見櫓からまちづくりを考える会代表。
景観まちづくり、歴史的町並みの保全、
歴史的建造物の保全・活用、まちの個性を活かしたまちづくりに取り組んでいる。
一級建築士。博士（工学）東京大学。静岡県沼津市在住。

著書

『まちの個性を、どう読み解くか－東海道筋まち並み町づくり－』静岡新聞社　2001(単著)
『地域発・三重奏の響き』日本建築士会連合会編・公職研　2005(共著)
『日本の町並み』上巻・下巻　山川出版社　2016(共著)
『火の見櫓－地域を見つめる安全遺産－』鹿島出版会　2010 (編著)




## 報告者プロフィール

**北海学園大学工学部　建築学科　植松研究室**　　／ 指導教官　植松　武是(たけよし)
専門分野　建築構造・建築構法

木質構造をはじめとする各種構造の設計法の確立・性能評価支援のための実験・解析，既存建築物の構造性能評価・補強工法の開発や用途変更のための設計提案等を主な卒業研究のテーマとしている。






※今回の調査等に携わった 2022 年度の植松研究室のメンバー
新岡遼音，鷹島光，藤岡優太，近村萌，京田華々，野村怜(誕生日順，全て四年生)